

第 325 号 平成 30 年 12 月 10 日発行

公益社団法人 三田市シルバー人材センター
〒669-1323

三田市あかしあ台 5-32-2

TEL 564-7501 FAX 553-1300

Eメール sandasilver631015@sandasc.org

ホームページ <http://www.sandasc.org/>

第 13 回 シルバー感謝祭開催！



今回で 13 回目となる「シルバー感謝祭」は、前日に若干雨の残る天気、屋外の状況が心配されたものの、当日（11 月 23 日）は問題のない天気となり、予定通り館内と芝生広場を使って開催されました。

館内ではサークルなどの舞台発表や、作品展示の他、絵手紙の体験などがあり、屋外では、地域班や除草班、独自事業などが中心となったバザーや、外部団体のご協力を得て飲食店やダンスなどのステージ発表が繰り広げられました。

三連休の初日ということもあり、かなりの人出がありました。

2時過ぎには飲食を扱うほとんどのテントが完売になり、三田市吹奏楽団の演奏を満喫した後は、来場者の期待の高まるお楽しみ抽選会です。

今回は、引き取り漏れがほとんどなく、約 50 名の方に、賞品をお渡しすることができました。

予定していた 5 時頃には撤収も完了し、大きな事故もなく無事終了となりました。ご協力いただいた会員の皆さん、大変お疲れさまでした。



シルバー感謝祭を終えて…

○小西実行委員長

絶好の天気にも恵まれた晩秋の日に、第13回の感謝祭を多くの会員の皆さんや地域の企業の方々のご支援とご協力により開催することができました。多くの市民の皆さん方が参加してくださり、会員とながったイベントとなりました。本当にお疲れさまでした。

○発表部会 金谷部会長

会場は満員御礼で、経験豊かなスタッフの気配り万全な準備と進行のおかげで、成功裡に終了。ありがとうございました。司会を担当いただきました三田祥雲館高校放送部員の皆さん、ありがとうございました。突然の間合いでの無理な依頼に、即興での対応は見事でした。

○展示・PR部会 入江部会長

絵手紙は親子連れでにぎわいました。特に小さな女の子が描いていた「もみじとみかん」の絵が、筆の使い方も上手で、非常に色鮮やかな葉書が印象的でした。

○バザー部会 阿久津部会長

昨年度と違い良い天気の良い早朝より会場を設営し、終了後の撤収作業も無事に終わりました。当日、駐車場が制限されている中、来場者も多く例年同様完売するお店も出て盛況でした。会員、関係者の皆様お疲れさまでした、感謝申し上げます。

フラワータウン地域班 鳥取方面へ旅行



10月18日(木)フラワータウン地域班の日帰り旅行として、鳥取方面への砂の美術館(見学)・砂丘(散策)・梨狩り(食べ放題)を満喫しました。

砂の美術館では世界各国の彫刻家が、北欧の建物(城)・風景・北極圏の動物たち・冬のスポーツ・北欧の森、家具、神話などをテーマに砂の彫刻を作り上げていました。

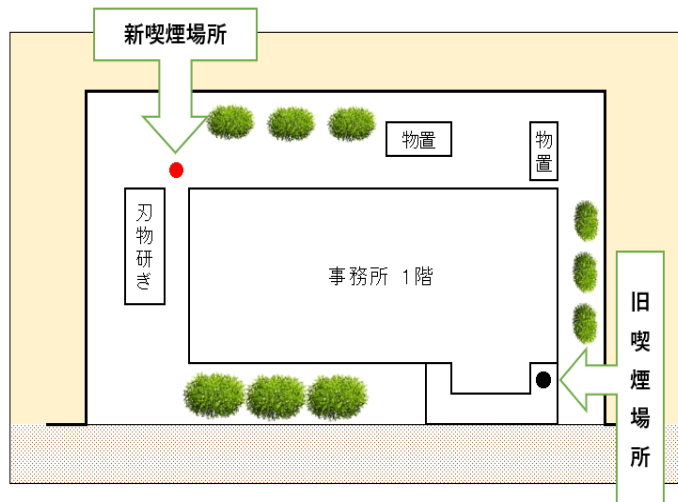
材料は砂丘の砂と水だけを転圧機で固め、道具はこて、へら、スプーンなどを使用するなど、極めてシンプルですが、作品は凄く迫力があり、技術の高さにビックリしました。

砂丘の雄大さに感動したあとの、豪華な昼食は参加者に好評で、つづく梨狩り(赤梨)では大きくて、2個食べる人は少なかったです。17時半にはフラワータウンに無事に着き解散しました。

～喫煙場所の変更について～

シルバー人材センターの事務所では、1階入り口付近に灰皿を設置し、喫煙コーナーを設けていましたが、灰皿からの匂いによる苦情や、休日も一般市民の喫煙及び休憩場所となり、吸い殻や缶コーヒーの空き缶、ゴミ類が散乱した状況になっていたことなどから、この度、別図のとおり喫煙コーナーを移動しました。

場所の移動とともに携帯灰皿をご持参いただくこととなりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。



12月10日からの行事

12月13日(木) 安全・適正就業推進委員会

14日(金) 業務部会

入会説明会(13:30~)

18日(火) 総務財政部会

19日(水) 仕事の相談日(10:00~)

福利厚生部会

21日(金) 理事会

※事務局の年末・年始休日は12月29~1月3日

1月11日(金) 入会説明会(13:30~)

16日(水) 仕事の相談日



かわはら たよ
川原 多代 さん



入会は平成29年1月です。ウディタウンB地域班に所属されています。

先日の感謝祭では、過去に裏方倶楽部(うらかたくらぶ)に所属していた経験から、音響スタッフとして活躍されました。

「私は、裏方のお仕事が昔から好きだったので、表に出るより、その催しが盛況になるようにいろいろ考えたり、大道具や小道具を作ってみたり、こうした中で働くことに生きがいを感じています。」とのお話です。

「また国際交流協会にも所属し、ボランティアとして、いろいろな国の子供達をサポートしており、今は主に三田で働く外国の方に日本語を教えています。その時、お互いに言葉が通じなくても相手を思いやる気持ちさえあれば、心が通じ合い、なんとか会話も成立するものです。初めて会う子供にも大人にも気後れすることは全然ありません。むしろ知り合えることに喜びを感じます。」とのこと。これは昔小学校の教師をしていたので、そのときの経験がすごく役にたっています、とおっしゃっていました。

「今は本当に忙しく、毎日があっというまに過ぎてゆく思いです。現役のころよりも忙しくなったんじゃないか?と思います。」

たまには失敗してしまうこともありますが、そのときは「転ぶときも前向きに転ぼう!」と考えていらっしゃるそうです。

最後に笑顔になるときはどんな時でしょうか?とお尋ねすると、「何かができたとき、また、それを喜んでくれる人がいると、それまでの苦労が全部報われたみたいで、達成感に浸れるときでしょうか」とのお答え。

これからも体が動ける限り、世の中のお役にたてるよう、がんばっていききたいと、どこまでも意欲的で明るい川原さんでした。(T・N記)

次回の配分金の支払いは
1月15日(火)です。

月度	平成29年度実績	平成30年度速報
会員数(人)	1,103	1,138
受注(件)	2,252	2,176
金額(千円)	347,047	347,896



職員紹介

小倉 矢須志(おぐら やすし)氏

9月末で退職した山本 義人氏の後任として、民間企業の継続就業を担当いたします。

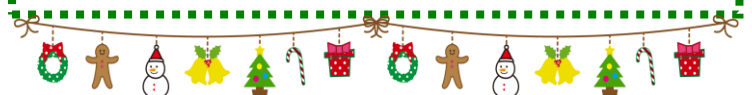
よろしくお願いいたします。



新入会員紹介(順不同・敬称略)

13名の方が登録されました

個人情報のため、お名前は伏せています。



知ってトクする 知っ得 コーナー

◆◆スマホって何？のお話◆◆

スマホとは、スマートフォン（高性能携帯電話機）のことです。

スマホが普及し始めておよそ10年。今や「スマホって何？」なんて聞く人はほとんどいません。もはや若者だけのものでもなく、高齢者にも必需品になりつつあります。もう、日常生活に欠かせなくなっている人が多いのではないのでしょうか。

電話はもとより、メールやネット検索で、あらゆる情報をいち早く入手し、SNSで発信もできます。カメラの超高解像度化や音声入力など性能は目覚ましく進化しています。

人生100年時代のこれから、社会とのコミュニケーションツールとしてスマホに親しむことは、この先、たとえさらに高度なメディアが出現したとしても、対応するための予行練習になるはずです。

「さらば現金」のキャッシュレス化は、目の前です。指紋で決裁できるかもしれません。

「5G」と呼ばれる第5世代通信規格がサービス開始になれば、通信速度は100倍、容量は1000倍といわれています。2時間の映画をスマホにダウンロードする場合も数秒で済む時代が来るのです。

いつの日か今のスマホをはるかにしのぐ超高性能なメディアが現れて「スマホって何だったっけ？」「昔、あったよね」なんて言うことになるかもしれません。

そろそろガラケーをスマホにした方が「お得」かもしれませんね。

「忘れてない？」

サイフにスマホに**火の確認**

（平成30年度 全国統一防火標語）

こんな時代です…。

（S・O記）



折々の花 日米陣地争い



セイタカアワダチソウ



ススキ

アメリカ生まれで日本の侵略的外来種にも登録されているセイタカアワダチソウが、いま日本古来の植物・ススキの猛反撃を受けています。

この植物は1965年ころ、養蜂家が蜜を取るため大量に栽培を開始。花の種が1本につき5万個もあるため、あっという間に全国の野原や空き地に拡散しました。しかも根からアレロパシーという毒素を放出、近くの植物を枯らしめます。また野ネズミやモグラにとっても猛毒であり、その死骸が栄養素となり大繁栄を繰り返していました。

しかし、ここ数年、この毒素にセイタカアワダチソウが自家中毒を起こし、枯れ死にする個体が増え始めました。そしてその場所にススキが他の雑草を押しよけて復権し、再び活況を呈し始めるようになりました。

アメリカに渡ったこのススキが、かの地の在来種を駆逐し、繁茂しているため侵略的外来種に指定され、駆除に追われています。

（T・N記）

注：当初セイタカアワダチソウは花粉症の元凶のように言われましたが、最近の研究で関係のないことがわかりました。

気まぐれトーク

年賀状を準備する時期になりました。来年の干支はイノシシですね。

数年前からパソコンを使って年賀状を作成しています。夫と相談しながら気に入ったイラストを選び、新年の挨拶文や住所・氏名などを入れてできあがったらプリンターで印刷。宛先もパソコンから印刷をします。1日で完成ですが、心を込めて（？）手書きの近況報告を添えるため、こちらは結構時間がかかります。

初めて年賀状を作ったのは小学校6年生のとき。図工の授業で、版画を彫ったことを覚えています。

結婚してからは、しばらくプリントゴッコのお世話になりました。1枚1枚プリントして、乾くまで部屋中に広げて置いていました。幼かった娘たちに、絶対に触ったらアカンよ！と注意したものです。

年賀状だけでつながっている友人も多いのですが、近況を知ることができて楽しみです。

元日に届くよう、今年も年賀状作りに励みます。

（A・O記）



2019